

バイオマス活用アドバイザー プロフィールシート

	【名前】 中坪 秀彰
	【現職（所属）】 NTCコンサルタンツ株式会社 開発事業部
【略歴】 1981年3月：岩手大学工学部土木工学科 卒業 1981年4月：太陽コンサルタンツ株式会社 入社 1991年3月：技術士(農業部門) 2008年7月：太陽コンサルタンツ株式会社、日技クラウン株式会社の統合による社名変更 現在に至る	
【業務実績】 2004年度：知覧町バイオマスエネルギー調査事業【鹿児島県知覧町】 2004年度：直川村地域新エネルギービジョン・詳細ビジョン策定業務【大分県直川村】 2006年度：環境技術実証モデル事業山岳トイレ技術分野し尿処理技術実証試験【環境省】 2007年度：宇佐市バイオマスタウン構想策定業務【大分県宇佐市】 2008年度：秩父市バイオマスタウン構想策定業務【埼玉県秩父市】 2009年度：西郷村バイオマスタウン構想策定業務【福島県西郷村】 2010年度：えひめバイオマス利活用マスタープラン目標達成状況調査業務【愛媛県】	
【得意分野】 農業農村整備、農業集落排水、有機農業、有用微生物群、地産地消、地域活性化、コンポスト、木質バイオマス、メタン発酵、消化液かんがいシステム、再生可能エネルギー、スマートグリッド、LCA、セクター分析によるB/C評価、J-VER	
【バイオマス利活用に関する取組・一言コメント】 バイオマスの循環と逆方向の経済循環がなければ進みません。ボランティア的な人的資源を当てにしても長く続きません。バイオマス経済の循環は、化石燃料価格や為替という外部要因に左右され不安定です。一発で解決できる方法は無いでしょう。但し、バイオマス施設単独ではなく、周辺の地域社会(セクター)まで広げ、多数の少額な収益を積み上げ、地域外からの輸入額を減らした分を地域内経済として循環することが当面の目標です。	